

令和7年度 伝統工芸青山スクエアにおける来場者調査（実施要領）

本実施要領は、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会（以下、当協会）が、伝統工芸青山スクエアにおける来場者調査を実施するにあたり、必要な事項を定めたものである。

1. 業務の名称

伝統工芸青山スクエアにおける来場者調査（日・英）

2. 実施目的

顧客の情報を収集・分析し、来場者像を多角的に把握することで当協会における今後の伝統的工芸品に関するプロモーション施策の立案や展示改善、さらには国内外における販路拡大や提携戦略の構築などに活用する。

プロフィールの把握

顧客の基本情報を知ること、店の主要な顧客層を明確にする。

来店・認知経路の可視化

顧客が「どの媒体で、どのようなきっかけで」伝統工芸青山スクエアを知ったのかを明らかにすることで、SNSや検索エンジン、ホテルからの紹介など、効果的な広告チャネルを特定する。

購買傾向と人気商品の把握

顧客属性ごとの購買傾向を分析し、業種や商品カテゴリ別の嗜好やニーズを明らかにする。こうした傾向を把握することで、価格帯に対する受容性や関心の高いジャンルを把握し、ターゲットに合わせた展示企画（例：母・父の日向けや迎春の特設展など）やプロモーションイメージに反映させることを目指す。

海外展開における可能性のリサーチ

日本の工芸品が現地で受け入れられやすい都市や地域について、現地の人々へのヒアリングを通じてリサーチを行う。これにより、地域ごとの文化的背景や購買意識に基づいた、より実態に即した海外展開の方向性を見出すことができる。

3. 実施日および場所

月：10月～3月の6か月間

回数：月あたり3日

曜日：水・金・土を各1日ずつ（同じ週内にて実施）

時間：13時～18時

場所：伝統工芸 青山スクエア 店内（東京都港区赤坂8-1-22）

4. 調査対象者

伝統工芸 青山スクエア の来場者（国籍は問わない）

[参考：1日当たり平均来場者数180名程度、うち外国籍が50%超]

5. 調査実施に係る準備

実施目的の達成に向けてより効果的なアンケート収集を行うため、調査の実施前に、当協会が作成したアンケート項目（別ファイル）について必要に応じた見直しをした上でアンケート案を作成すること。設問の修正や効率的な配置、適切な回答選択肢の設計など、内容のリバイスを実施し、その修正案を当協会と共有のうえ、確認・承認を経てから調査を実施するものとする。

6. 実施体制および言語

調査員2名体制（日・英）

- ・調査対象には、お客様の過半数を占める欧米人も含まれるため、調査員2名はいずれも日本語・英語の両言語に対応できる方とし、件数と内容の充実を図ること。
- ・より正確で一貫性のあるデータ収集を行うため、全実施日において同一の調査員が担当することが望ましいが、収集結果にゆらぎが生じないと判断される場合に限り、別の調査員による対応も可。

7. 成果物（報告）

調査後、毎月末までに、集計結果の報告を電子メールにて行うこと。

最終報告については、2026年3月16日（月）までに提出する。

報告に際しては、単純集計およびクロス集計を実施し、必要に応じてグラフ等の視覚的な手法を用いて結果を分かりやすく可視化すること。なお、クロス集計にあたっては、調査の実施目的を的確に反映できるよう、複数の切り口から多角的な分析を行うものとする。また、集計した全データを最終報告時にExcelファイルにて提出すること。

8. 応募にあたっての提出書類

- (1) 会社概要
- (2) 業務体制表（外部へ再委託する業務が発生する場合はその旨を明記すること）
- (3) アンケート調査実績
- (4) クロス集計案
- (5) 見積書
- (6) その他、貴社が必要と定めたもの

9. 提出方法

電子メール

件名「令和7年度 伝統工芸青山スクエアにおける来場者調査」

送付先：kikaku@kougei.or.jp

企画部 西川宛

10. 提出期限

2025年8月24日（日）

11. 注意事項

- ・提出書類は返却できません。
- ・応募書類及び提出物に対価をお支払いすることはありません。
- ・本件に関する問い合わせはメールのみ受け付けます。
- ・公募価格、選考過程や選考結果に関しては回答できません。

12. 問い合わせ

kikaku@kougei.or.jpまで電子メールにてお問合せください。

担当：企画部 西川